



地区英語弁論大会

8月23日(火)置賜文化ホールにて第74回 東南置賜地区中学校英語弁論大会が開催され、本校からは暗唱の部に平岡夏希くんが、スピーチの部に岡崎もかさんが参加し、練習の成果を発表しました。岡崎もかさんの「Things we need to preserve」が見事第3位に入賞しました。



海洋教育セミナー

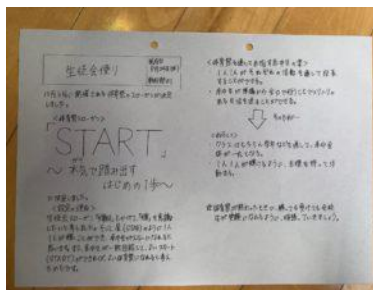
8月25日(木)、シェルターなんようホールで開催された、「海洋教育～海の仕事へのパスポート～」に2年生が参加しました。



この事業は、海に接していない本市の中学生が、海洋に関わる職種や教育機関等を知ることを通して、自己の生き方や職業に対する考え方や知識の幅を広げたり深めたりする。また、人々の暮らしと密接に関係している海洋の重要性を知り、海洋に関わる職業や環境で「働きたい」と考えられるようにすることを目的に毎年開催されているものです。当日は、船員・造船・港・公務員・海洋・学校・イラストの7つの海に関わるテーマから2つを選択し、話を聞きました。良い学びとなりました。

体育祭スローガン

8月24日(火)の全校集会で体育祭のスローガンと組織について提案がありました。体育祭スローガンは「START」～本気で踏み出すはじめの1歩～です。総務部・競技部・式典部・地域ふれあい競技部・応援部・装飾部・救護部に分かれ活動します。



贈り物

烏帽子山八幡宮敬神会会長の神尾伸一様より「日本一石の大鳥居 ～名石工 吉田善之助～」という冊子(復刻版)と、南陽8ミリクラブ制作の「ふるさとの名石工 吉田善之助」というDVDをいただきました。地域学習に活用させていただきます。ありがとうございました。



少年の主張大会

8月26日
(金) 高島

町糠野目生涯学習センターにて第61回南陽・高島地区少年の主張大会が行われ、大友敬介さんと八鍬愛美さんが出場しました。

大友敬介くんの「未来を創る私たちへ」が最優秀賞、八鍬愛美さん「人生のバッテリーボックスに向かって」が優秀賞に入賞し、9月14日に米沢市で行われる置賜ブロック大会への出場権を獲得しました。



南陽市中学校生徒会共同宣言

8月29日(月)に生徒会集会を行い、8月5日の南陽市生徒会連絡協議会で話し合った内容について報告がありました。生徒会連絡協議会で採択された、南陽市中学校生徒会共同宣言を全員で読み上げ、学校生活の更なる充実を誓いました。



2学期学級委員認証

8月30日(火)に全校朝会で、2学期学級委員の認証を行いました。堂々と決意を述べながら、認定証を受け取りました。行事の多い2学期ですが、学級委員を中心に、意見を出し合い、協力しながらよりよいクラスになるような日々の学習や生活にしていってほしいと思います。それぞれのクラスの学級委員は次の通りです。



2学年マナーアップ講座

8月23日(火)2年生が里山ソムリエの黒田三佳さんを講師にお招きし、マナーアップ講座を行いました。また、黒田さんより、著書「森に暮らす」を寄贈していただきました。図書室に置かせていただきます。ありがとうございました。



2学期学級委員

1年1組	後藤 瞭斗	佐藤 真汎
1年2組	歌丸 蒼大	平林 稀沙
1年3組	佐野 蓮鳳	ニツ森 夏妃
1年4組	小川 暖登	漆山 美柚
2年1組	櫻井 凜	寺嶋 心愛
2年2組	後藤 柊太	歌丸 一花
2年3組	須貝 遼太郎	小関 心桃
2年4組	前柳 大登	奥村 星愛
3年1組	吳 世勛	佐藤 くるみ
3年2組	小林 穂紅	川井 央翔
3年3組	梶原 春琉	池田 紗雪

平和の夕べ

8月31日(木)シェルターなんようホールで、核兵器廃絶と人類の恒久平和を願い、「南陽市非核、平和都市宣言」を行っている南陽市が企画した「流れる雲よ」という演劇を鑑賞しました。生徒の感想を一部掲載します。

- ・今までは戦争を他人事のように考えていた。観劇して、戦争で戦ってくれて今の日本を残してくれた当時の人々に感謝して、これから私たちがよりよい日本を作っていかなければならないと思いました。当時の人たちの死を無駄にしないように私たちが今できることをやっていきたい。
- ・戦争は悲しみしか生まない空虚なもので、もう二度と起こしてはならないものだと思います。昔、自分の命を懸けて未来の私たちを思い、死んでいった人たちのその命が報われるとしたら、もう二度と戦争という悲劇を繰り返さないことだと思います。
- ・自分の周りにいる大切な人が、いかにかけがえのない存在か改めて実感しました。
- ・「今の日本はいい国ですか?」この言葉に、大きく胸を張って、はいと言える国を、未来を創る私たちが創っていかなければならないと思います。どうして日本は戦争の道を選んだのか特攻隊という作戦をしなけりなかつたのか、そこまでの道のりにとっても興味がわきました。自分でも調べてから、もう一度この劇を観劇してみたいです。

